



地形・地質

両島は本部半島の西方に位置し、瀬底島が3.4km²、水納島が0.56km²の面積をもつ小島です。瀬底島は先第三紀の石灰岩・千枚岩・緑色片岩などを不透水性基盤とし、琉球石灰岩を帯水層とします。水納島は標高が20m以下の低平な島で、全島が琉球石灰岩からなり、北東海岸には沖積砂丘が比較的広く分布します。

地下水

瀬底島の地下水は琉球石灰岩を帯水層としますが、塩水クサビの上にわずかに浮くかたちをとっています。水納島の地下水は海水面より0.4m前後高いだけで、淡水レンズはきわめて薄いです。両島とも、利用できる地下水はごくわずかです。

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記のWebページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwddb.html>（日本地下水学会）